

平成15年11月26日

**手巻おにぎり・こだわりおむすびに「おにぎり革命」！
新製法・新パッケージでおにぎりの年間販売数10億個へ**

株式会社セブン-イレブン・ジャパン(東京・港区、代表取締役社長 最高執行責任者〔COO〕:山口 俊郎)は、現在一部地区で行っている手巻おにぎり全品と、こだわりおむすび全品の「おにぎり革命」と銘打った新製法への切り替えを、11月22日(土)より本格的に首都圏地区で開始いたしました。

このたびの新製法は、今年7月より直巻おむすびの「おにぎり革命」と同様に、おにぎりの具を真ん中に入れ、御飯で包み込むものです。家庭で作る本来のおにぎりにより近づけ、おにぎりの表面に塩をつけ、握りたての御飯の食感を目指し、外側をしっかり中をふっくらと握りました。また、おにぎりが変わったことをお客様により認知していただくために、パッケージデザインを一新します。現在、先行して静岡以西の地区で切り替えが終了しており、今月22日よりいよいよ首都圏が、12月中旬には全国各地の切り替えを終了いたします。

すでに「おにぎり革命」に切り替えた直巻おむすびは、切り替え後、20%増の販売につながる地区もあるなど、お客様から大変ご好評いただきました。2002年度の1年間にセブン-イレブンで販売されたおにぎりの数は、9億9千万個にのぼり、このたび、手巻おにぎりとこだわりおむすびも「おにぎり革命」に切り替えることで、さらに味・品質の向上を実現し、今年度、10億個以上の販売につながる一つのきっかけになることを期待しております。

セブン-イレブン・ジャパンは、今後もチーム・マーチャンダイジングにより、お客様に最大の満足を提供できる商品開発に努めてまいります。

以上